

離婚証明書・和訳

登録番号：

日付け：

台本番号：

離婚証明書（ホラア方式*）*妻が申し出た離婚

_____年____月____日、__曜日、イスラム暦_____年_____月____日
____時____分、_____を公証人として、下記の証人の立会いの下、
以下の離婚取り決めが登録された。

証人

1. 氏名：_____ 国籍：_____ 宗教：_____
生年月日：_____ 出生地：_____ 職業：_____
住所：_____
身元確認書類：_____ 発行機関：_____ 発行年月日：_____
身分証明書番号：_____
2. 氏名：_____ 国籍：_____ 宗教：_____
生年月日：_____ 出生地：_____ 職業：_____
住所：_____
身元確認書類：_____ 発行機関：_____ 発行年月日：_____
身分証明書番号：_____

上記2名が証人として同席、同2名は公証行政法第8条に基づく、証人としての
資格を有している。

出席者

第一の当事者：_____ の息子の _____ の息子の _____
母親の氏名： _____
国籍：_____ 宗教：_____ 生年月日：_____
出生地：_____ 住所：_____
職業：_____ 身元確認：_____ 発行地：_____
発行年月日：_____ 身分証明書番号：_____

第二の当事者：_____ の娘の _____

母親の氏名： _____
国籍：_____ 宗教：_____ 生年月日：_____
出生地：_____ 住所：_____
職業：_____ 職場住所：_____ (公式登録住所)
身元確認：_____ 発行地：_____ 発行年月日：_____

仲裁の呼びかけに対しても、夫と妻の両名共離婚する意思が固かったため、公証行政法第 10 条に基づく離婚手続きを実施し、以下のとおり登録する。

二人の証人は、夫妻が_____年__月__日、カイロ公証人のもとで公証登録番号第_____号により婚姻契約したことを証言した。

夫と妻は夫婦として暮らしてきたが‘ホラア方式’による離婚を決めたと公言した。

妻は夫に「私の夫である_____の息子の_____の息子の_____へ、私は、結婚契約金（後払い分）と離婚の際の慰謝料を始め妻として得られる一切の権利を放棄します。そして受領済みの契約金（先払い分）_____ポンドについては返金するので離婚して下さい。」と言い、夫は即座に答えて言った。

「わが妻である_____の娘の_____よ、私はあなたと離婚します。結婚契約金（先払い分）_____ポンドについては返金を受けました。」

当事者の両名にとって第一回目の離婚であること、また、新たに結婚契約を結び、結婚契約金（先払い分）が支払われない限りは、復縁することはできないことを特記した。

この証明書は原本 1 通とコピー 4 通が作成され、内容確認後、出席者全員がこれに署名した。

公証人の署名	証人の署名	第二の当事者の署名	第一の当事者の署名
_____	1. _____	_____	_____
	2. _____		

翻訳者：
(署名)